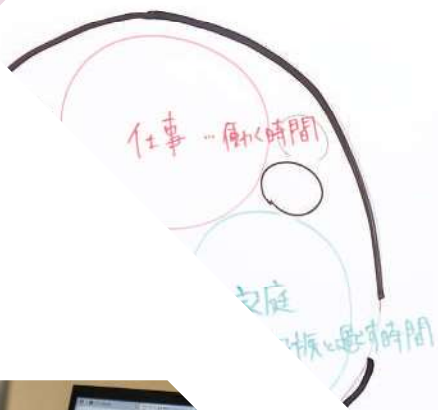
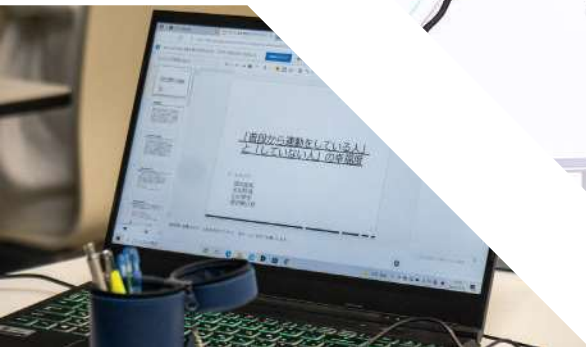


## 10年後のなりたい姿



私が人生の中で大切にしたい事ベスト3

- 1 自分の意志
- 2 柔軟性
- 3 人とのつながり



## 現代教養学環

(設置構想中)

※設置計画は予定であり、内容に変更が生じる可能性があります。

桐蔭横浜大学に、新しい「現代教養学環」が誕生します。

今、私たちの社会は、毎日刻々と変化しています。

何が変わり、そして変わらないものは何か。

現代社会の本質をとらえ、より良い未来社会を築く。それが現代教養。

桐蔭横浜大学の、そしてここで学ぶみなさんの、まったく新しいチャレンジです。

現代教養学環には現代社会に不可欠な5つの専門コースがあります。

でも、入学時に決めなくてもいい。

地域社会学、マーケティング学、国際コミュニケーション学、心理学、サステナブル工学。

私たちが生きる現代社会を5つの視点でとらえ、

幅広く、そして深く学びながらみなさんの将来を一緒に考えましょう。

なりたい自分になる。

さあ、桐蔭横浜大学で学び、未来を切り拓きましょう。



## アドミッション・ポリシー [入学者受け入れの基本方針]

現代教養学環では、幅広い教養と確かな専門知識を身につけて、現代社会の構造的課題を理解し、今後の持続的な発展に向けてアイデアを出し、それを具現化し、持続可能で豊かな社会の構築に貢献できる人材を養成する。このため、現代教養学環では、次のような知識や能力を備え、主体的に社会変革を実現していく意欲のある人材を求める。

### 知識・技能

- 1. 本学での学修に必要な基礎学力を有している。

### 思考力・判断力・表現力

- 2. 目標を達成するため、現状を理解し、何をすべきかについて自ら考えることができる。
- 3. 他者の意見を理解し、自己の考えを表現することができる。

### 主体的に学習に取り組む態度

- 4. 積極的に他者と関わり、協働して活動することができる。
- 5. 社会の持続可能な発展に関心を持ち、主体的に関わる意欲を有している。

## カリキュラム・ポリシー [教育課程編成・実施の基本方針]

現代教養学環では、ディプロマ・ポリシーの達成のために、大学共通のMASTプログラム、専門的知識を深める5つのコースとゼミナール科目を体系的・構造的に配置するとともに、学生の達成状況を常に評価しながら、何を学んだか、ではなく何を身につけたかを重視したカリキュラム編成を行う。

- 1. 「人生と学びの基盤となる力」(考動力、複眼的思考力、共感力、リーダーシップ、探究力、自律的キャリア)をMASTプログラム中心に修得し、現代的教養を身につける。
- 2. MASTプログラムで視野を広げた後、専攻分野を選択し、専門研究において専門知識を深め、他者と協働する知識集約型研究プロジェクトにより分野を横断した知識を身につける。
- 3. 各授業科目では、知識の定着を総括的に評価するとともに、資質・能力の獲得を形成的に評価する。教育課程を通じては、各年次の主要科目においてディプロマ・ポリシーの達成度を評価する。

## ディプロマ・ポリシー [学位授与の基本方針]

現代教養学環は、統合された知をもって、現代社会の諸課題の解決に貢献する人材を輩出することを目標として、卒業時に以下のような能力を身につけた者に学士の学位を授与する。

### 現代的教養

- ▶人文・社会科学、自然科学について幅広く理解するとともに、自分の専攻する分野に関する専門知識を身につけている。

### 専門知識と分野横断

- ▶自分の専攻分野に関する専門知識を中心に、隣接する分野に横断する幅広い知識を現代的課題と関連づけて理解している。

### 「人生と学びの基盤となる力」

- 考動力 .....物事を批判的に捉えて問題を発見するとともに、その問題解決のために行動することができる。
- 複眼的思考力 .....多角的な視点と柔軟な心をもって、物事をとらえることができる。
- 共感力 .....他者の意見や考えに耳を傾けるとともに、自らの意見や考えを表現し、伝えることができる。
- リーダーシップ .....集団の目標達成のために、自らの果たすべき責任を自覚するとともに、他者と良好な関係を築き、協働することができる。
- 探究力 .....積極的に新しいことに挑戦するとともに、粘り強く学び続けることができる。
- 自律的キャリア .....長期的な展望をもって将来の人生を思い描き、その実現のために必要とされる物事を理解し、それに向けて計画し、実行することができる。

## 選べる5つのコース

### 地域社会学コース

社会学の理論を土台として、行政や産業、観光などから社会のありかたについて学びます。身の回りの地域に留まらず日本社会が抱える構造的課題の解決に貢献できる人材を育成します。

### マーケティング学コース

マーケティング理論を中心に、起業家精神や現代社会特有のビジネスのあり方を学びます。激しく変化する現代社会のなかで新たな価値を創出し、社会の持続可能な発展に貢献する人材を育成します。

### 国際コミュニケーション学コース

言語や文化を中心に、異文化コミュニケーションの理論を学びます。グローバル社会の一員としての自覚をもち、豊かな国際感覚を身につけ、多文化共生社会の実現に貢献する人材を育成します。

### 心理学コース

社会の中で生きる人間のこころと行動に関わる様々な理論を学びます。心理学の思考と理論を土台にして、現代社会の諸問題を心理学的視点から読み解き、課題解決に貢献する人材を育成します。

### サステナブル工学コース

工学を中心に、エネルギー問題や地球温暖化などの課題を克服し、脱炭素化社会を実現するための知識・技術を学びます。環境と経済を両立し、豊かで持続可能な社会づくりに貢献する人材を育成します。

## 学長補佐からのメッセージ

### まだ自分を決めなくてもいい。学びながらりたい自分を探す4年間。

将来が決められない、まだ決めたくないと思いませんか。そんな人に、現代教養学環は無数のチャンスを提供します。未知のことを新しい方法で学び、体験する。勉強が面白く、圧倒的に楽しい。そうした4年を過ごしながら、一人前の、なりたい自分になってもらうための場所が、この現代教養学環です。皆さんがそれぞれに描くどのような未来であっても、時代を生き抜くために必要な資質・能力は共通です。現代教養学環はその力を養うので、どんな仕事にも役に立つのです。



並木 浩一 教授

[メディア論/表現文化論/日本語教育]

# 現代教養学環

学びと人と社会を繋いだ学びの“環”で、

一生役に立つ学びを体験する、

絶対に後悔しない4年間



(設置構想中)

※設置計画は予定であり、内容に変更が生じる可能性があります。

私たちの生きる社会は多くの課題を抱えています。

その解決のためには、様々な分野の知を結びつける力が必要です。

現代教養学環では、1年次には5つの内容を幅広く学び自分の可能性を広げ、

2年次からコースに分かれて専門分野の知識を深めます。また1年次から教室を飛び出して、

仲間と一緒に作り上げる「プロジェクト型学習」で経験を積み、課題解決のための力を養います。

## 学びのステップ

1年次

### 大学での学びの基盤を築き、可能性を探る

MAST科目で“なりたい自分”を探り、大学で学ぶためのスキルを身につけます。5つのコースの基礎科目を幅広く学び、2年次から進むコースを探ります。さらに「プロジェクト入門」では、仲間と一緒に課題解決に取り組み、チームで協働する力を養います。

2年次

### 知を組み合わせて、仲間とともに社会課題に挑む

1年次に身につけた基礎知識を、選択した専門コースのなかで深めていきます。さらに「分野横断型プロジェクト」では、仲間とともに異なる分野の知を組み合わせて、地域社会や企業が抱える身近な課題について仮説を立てます。

3年次

### 専門性を深めるとともに、社会を相対化する視点を磨く

ゼミや専門研究での学びを通して、仮説を立てて調査を行い、分析し解釈する方法を身につけ、知の活かし方を学びます。「桐蔭キャラバン」では、日本の複数都市をめぐるなかで、社会を異なる視点から見て比較することを学び、地域社会が抱える課題の解決に向けて、仲間とともに実践します。

4年次

### 知を統合して、現代社会の課題を解決する

「知識集約型研究プロジェクト」では、3年次までに培ってきた専門知識と幅広く社会を見通す視野を活用し、現代社会が抱える実際の課題に対して、すべての知を統合させて解決を目指します。

※科目名称はすべて仮称であり、変更になる場合があります。





## 現代教養学環 Q&A

Q

がっかん

学環とはなんですか？

A

現代教養学環は、桐蔭横浜大学のすべての組織がみなさんの学びのために集まってできた新しい学部相当の教育組織です。他の学部と同様に、「現代教養学環の入学試験」に合格した受験生が入学できます。学生のみなさんの学びを中心に、先生もスタッフもすべてが環になって支えています。学びの環。それが「学環」という名称に込めた私たちの思いです。

Q

どんな学生が向いているのでしょうか？

A

様々なことにチャレンジをするなかで、将来の“なりたい自分”を探究したい人を歓迎します。また学環では、4年間でいくつものプロジェクトを経験し、課題解決能力を高めていきます。そうした力を生かして、自らアイデアを出し、仲間と協働して、よりよい社会を実現していくことに意欲のある人を求めています。

Q

どのようにしてコースを選択しますか？

A

1年次に5つのコースの基礎科目を幅広く学んだあとで、2年次に進学する前に希望するコースを提出し、1年次の成績を参考に配属されます。2年次では配属されたコースの専門科目を中心に学びますが、3年次に上がる前のプレゼミで研究室をローテーションで回ったあとで、最終的に進むコースを決定します。

Q

実習にはどんなものがありますか？

A

「プロジェクト入門」(1年次)、「分野横断型プロジェクト」(2年次)、「桐蔭キャラバン」(3年次)、「知識集約型研究プロジェクト」(4年次)のように毎年、プロジェクト型学習が行われます。所属するコースと一緒に活動する企業や組織によって取り組む課題やフィールドは様々です。

Q

想定される就職先にはどのようなものがありますか？

A

学環では、幅広い教養と確かな専門知識を身につけて、現代社会の課題を解決できる力を養います。卒業後はそうした力を生かして、地域社会の発展を支えるNPOなどの非営利団体や社会起業家、観光協会、旅行会社などへの就職を想定しています。また変わりゆく社会のなかで、新たな価値を生み出し提供する広告代理店や商社、出版業界などへの就職も支援します。